



お見送り  
スイーツトレインを

■11月14日、「スイーツトレインで南薩を巡るプレミアムツアー」で約70名のツアー客が枕崎を訪れました。枕崎駅では、かつおせんべいや出汁の振る舞いが行われ、枕崎小学校2年生をはじめとする多くの方が特急「はやとの風」を見送りました。



デザインマンホールが完成

■11月14日、デザインマンホール募集事業で最優秀賞を受賞した大工園昭則さんデザインのマンホールが完成し、12月6日まで市役所に飾られました。今年度中には、市内の道路に設置される予定です。



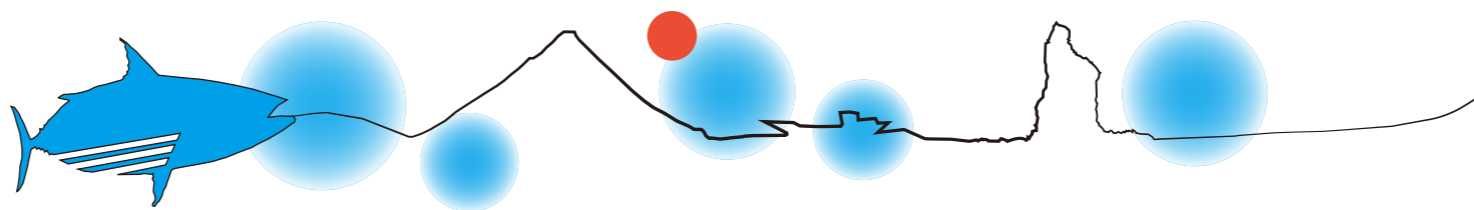
お茶の淹れ方教室

■11月21日、南九州市の日本茶ソムリエ会が枕崎小学校の4年生を対象に行いました。児童は、自分たちで淹れた美味しいお茶を味わいました。



南薩地区秀作展～第74回南日本美術展から～

■12月7日から22日までの期間、南漢館で開催されました。鹿児島市で開催された第74回南日本美術展の作品の中から、南薩地区関係作家の作品が展示されました。



枕崎の魅力が詰まった1冊が完成  
～まくらざき探検隊が「まくらざき三十六景」を寄贈

枕崎観光ボランティアクラブのまくらざき探検隊がお勧めの観光スポットを掲載した「まくらざき三十六景」を製作しました。

今回製作した「まくらざき三十六景」は、ドローンを使った空撮写真やスケッチ画の挿入により手作り感があふれる個性豊かな冊子となっているほか、英字・簡体字訳のQRコードを各ページに掲載しており、3カ国語に対応できる観光ブックとなっています。

「まくらざき三十六景」は、市役所や教育委員会、各小中学校に配られたほか、駅前観光案内所や枕崎お魚センター内の枕崎観光協会などに設置されています。



▲まくらざき三十六景



100歳おめでとうございます  
～中川フミエさん(住吉町)

中川フミエさんが12月1日、めでたく100歳の誕生日を迎え、2日に市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

中川さんは、枕崎で生まれ育ち、若い頃は大阪の売店で働き、25年ほど前に枕崎に帰ってきたそうです。長生きの秘訣は「ご飯をお腹いっぱい食べ、よく働き、よく食べ、よく眠ること。良い空気を吸って、働くこと」と話します。

これからも元気で長生きしてください。

11月24日は「いいふしの日」

～鯉節やカツオ製品をPR

11月24日は「いいふしの日」でした。「いいふしの日」を盛り上げようと、枕崎お魚センターでは、鯉節パックの掴み取りやカツオのわら焼きタタキ・ホタテバター・枕崎茶などの振る舞いのほか、カツオ料理教室での実演・試食などが行われ、多くのお客さんと賑わいました。

また、鹿児島空港では、日本一の鯉節の産地をPRし、鯉節の普及拡大及び本市の「食のまち」としてのイメージアップにつなげるため、日本航空(JAL)の東京と大阪からの到着客に鯉節パック、かつおせんべい、観光パンフレット700セットを配布しました。



食のまち枕崎の新たな起爆剤

～「枕崎昆鯉出汁愛鍋」が市内飲食店で販売開始

2月に鹿児島市で開催されたShow-1グルメグランプリ～ご当地鍋大会～でグランプリを獲得した「枕崎昆鯉出汁愛鍋」の市内飲食店での販売が始まりました。12月11日には、枕崎市水産センターで試食・発表会が開催され、市内の飲食店8店舗がそれぞれオリジナルの「枕崎昆鯉出汁愛鍋」を持ち寄りました。各店舗が販売する鍋は、昆布と鯉節の昆鯉出汁を使用し、具材としてB1腹皮と鹿籠豚を入れるという条件の下、各店舗独自にアレンジされた「枕崎昆鯉出汁愛鍋」となっており、12月時点で4店舗(すし匠 五条、だいとく、つちふまず、福寿庵)が販売しており、1月中には残りの4店舗(一福、ABC、花渡川ビアハウス、魚処 なにわ)でも販売が開始されます。

枕崎市通り会連合会の林吾郎事務局長は「この鍋を新たな起爆剤として、枕崎をもっと盛り上げていきたい」と話しました。



①一福 ②ABC ③花渡川ビアハウス ④魚処 なにわ ⑤すし匠 五条 ⑥だいとく ⑦つちふまず ⑧福寿庵

ほっとホット  
フォトコース



各保存会がそれぞれの郷土芸能を披露  
～第6回郷土芸能大会

11月24日、市制施行70周年記念事業として第6回郷土芸能大会が枕崎市市民会館で開催され、11団体(うち2団体は映像で紹介)が参加しました。

郷土芸能大会は、郷土芸保存会が5年に1度集結し、市内の各地域や集落に伝承されている唄・踊りを広く紹介・披露します。今回、鹿籠金山の作業唄であった「せと節」や小湊に伝えられる女性の踊りである「塩屋笠踊り」、カツオ漁が全盛の頃、エサのカタクチイワシを生かしておくために寝ずに樽の海水を替える時の労働歌であった「汐替節」などが披露されました。



鹿児島水産高校に軽音楽を♪

～SOUTH WAVE ROCK FES 実行委員会が音楽機材を寄附

11月27日、さつま黒潮「きばらん海」枕崎港まつりの運営に携わるSOUTH WAVE ROCK FES 実行委員会から鹿児島水産高校にドラム一式の寄附がありました。同校の生徒が新たに軽音楽を始めたいと活動し始めたことがきっかけでした。

同委員会の茶屋太一郎さんは「枕崎で音楽をする人が少ないので、子どもたちを応援し、音楽で枕崎を盛り上げることができれば」と話し、佐藤息吹さん(海洋科栽培コース・2年)は「楽器をいただけるとは思っていませんでした。これから音楽を頑張りたい」と話しました。